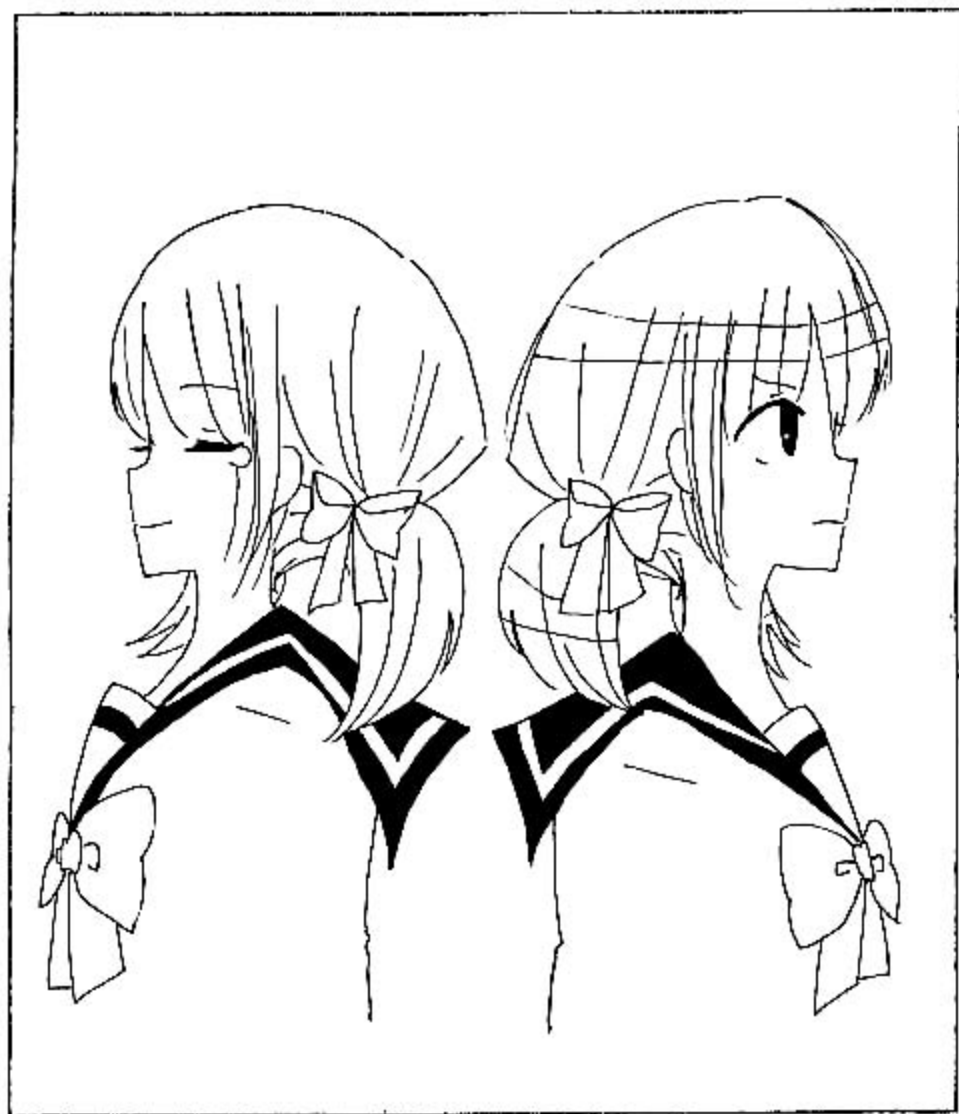


「キャッチ」

CATCH

VOL.83

2017.3



西東京市図書館

BOOKS of the YA, by the YA,
for the YA…～YAが主役の本～

Q 私はだれ？
(答えは次のページ)



『ショコラと魔法使い』

長岡マキ子 著 KADOKAWA

「ショコラトリー・クロエ」の店主のクロエは十五歳。クロエが十三歳の時に両親は仕入れに出た先で事故に遭い、二人一緒に帰らぬ人となってしまいます。一人で生きていくには難しかったため、孤児として教会で二年暮らします。

その後、神父の協力で他人に貸していた家と店を取り戻し、両親のものだったお店を再オープンさせたのが一か月前。常連客も出来て良いスタートが切れたと思いきや、ある日お店にやって来た騎士に捕まってしまいます。なんとクロエが法律で厳しく取り締まられているマジー・ショコラを無免許で製造・販売していると言うのです。マジー・ショコラとは魔法使いの魔力が込められた魔法のショコラのこと。一般市民のクロエに作れるはずがありません。しかも連れて行かれた先は王宮！クロエは王様から父が王子だったと知らされます。王女様だったクロエですが両親の形見である「ショコラトリー・クロエ」を続けたかったので免許取得（＝「聖菓師」になる）のために、魔法学校に通い始めます。クロエの運命はいかに！？

ショコラと言われて思い浮かぶのは、初めて男子からもらった市販のチョコレートです。その時の箱は今でもとってあります。いや～いい思い出ですね。二年前ですけど（笑）。受験生にバレンタインは訪れないのでホワイトデーに期待したいです。

『クローバー』

中西翠 著 講談社

今回私が紹介する本は、クローバーという本です。みなさんはクローバーと聞いてどんな物を思い浮かべますか？四つ葉のクローバーと頭に思い浮かんだ方正解です。今回の話には四つ葉のクローバーが出てくるのです。

中学一年の上野好葉は毎週水曜日の放課後、親友の美咲に内緒で図書館に来ます。内緒で来ると言っても勉強をするわけでも、誰かと待ち合わせをしているわけでもありません。自分だけの秘密の場所を持ってみたくなったからです。そこでクラスも部活も同じ取部直人に会います。部活が同じだけで仲が良いわけでもない二人。

好葉は、ある日から四つ葉のクローバーを探し始めます。そしてそのクローバーを「妖精のエモ」が出てくる本と同じように、本にクローバーをはさんだり、百枚集めようとしたりするのでした。

ある日、親友の美咲が「好きな人ができた」と言ってきた、その人は取部直人。自分は最初応援しようとしていたのですが…。

ある時、クローバーをはさんでいた本を見ていると、「六月十二、図書室掃除の日に注意！」と書いてあり、好葉は「了解」とメモを書きました。それから日がたち、ふと図書室へ行った好葉。そこで本棚のすき間から出てきた直人に「上野なの？」と聞かれ、「うん」と答えた好葉。どんな人なのかと互いに気になっていたのが良かったと思う二人。と、美咲が好きだと言っていたのに、自分も好きになってしまった好葉。どうしようと自分一人で悩みます。そんな中で美咲とケンカをしてしまいます。好葉は仲直りがしたくて、クローバーを百枚美咲にあげなんとか仲直りをします。

ある時美咲に聞かれてしまうのです。「本当は取部くんのことが好きなんじゃないの」と…。

物語はその後美咲が直人くんへ告白しに行く場面になります。私はこの本を読んでいる時、主人公の好葉の気持ちに入り込んでしまって最後の方で泣きそうになってしまいました。（笑）こんな私でも泣きそうになってしまうような、温かくて、ちょっと切ない恋心をくすぐるようなこの『クローバー』という本をぜひみなさんも読んでみてはいかがでしょうか？

『本格推理委員会』

日向まさみち 著 産業編集センター

小中高一貫の大型校の新学期。小学生たちの間で噂になった一つの怪談。聞いてみると音楽室に幽霊が出るというよくある話……ではあるが、実はそこには元となる一つの不思議な事件があった。ある一人の先生が春休みに、噂となった音楽室で女性を見たというのだ。しかし正体確かめる前に、女性は消えてしまった。音楽室のある四階からエレベーターを使った形跡もなく、残された外への道は階段一つ。だが、そこを通ったものは誰もいない。女性はいったいどこに行ってしまったのか。そして、さらに続いて起こる不思議な事件のすべてに関係性はあるのだろうか。それよりも第一に、事件に巻き込まれる発端となった常識人には見えない理事長がつくった本格推理委員会とはいったい何なのか。

この作品の主人公は、高校一年生になったばかりの城崎^{きのきしげう}修。彼は平和な学校生活を望むが、そうはいかないのがやはり小説のお約束。理事長からの課題を見事突破したことで、勘だけはとんでもなく優れた幼馴染の木下椎と共に、二人の先輩がいる本格推理委員会に所属して、いやいやながらも事件を調べていくことに。かわいい妹や愉快的同級生、そして下級生と関わり合いながら事件の真相を突き止めていく、そんなお話です。

本格推理とはありますが、堅苦しく考えることはありません。コミカルな会話が物語を先へ先へと後押ししてくれます。作者もあとがきで述べていますが、ライトノベルを意識した作品、まさにその通りという感じで、題名で構えてしまっていたのが嘘のようです。数年前、私がたまたま書店で出会ったこの本ですが、今でも印象に残っている作品の一つです。皆さんも図書館や書店でなんとなく手に取った一冊を読んでみてください。そしてこの冊子を手に取り、ここまで読んでくれたあなたは、ぜひこの本を手に取ってみてください。

『砂漠』

伊坂幸太郎 著 実業之日本社

大学に入学し、在り来たりな馴れ初めから出会った男女5人組、北村、鳥井、南、東堂、西嶋。コンパ、合コン、バイトに学祭、何処にでもありそうな大学生活を気怠く送る彼らを、ズームアップで手元までしっかり覗いてみると、実はその日常はとても愉快。突如開かれる麻雀大会、ホストとのボウリング対決、通り魔連続殺人犯との遭遇、超能力者との騙し合い、捨てられた犬の救出、クリスマスイブ告白大作戦……それは社会に繰り出す大人から見たら下らないようなことで、しかし本人たちからして見たら大真面目、ととてもとても大層なこと。成人は迎えても、まだ社会という「砂漠」に放り出されていない彼らは、そんな事件やイベントにぶち当たる度に濃く絡み合い、各々の成長へと繋げていきます。

そして、「絆」なんて言葉は野暮ったく思えるくらい、そつない付き合い方を通す彼らの在り方は、正に大学生特有の人間関係のリアル。クラスも無い、サークルも入らない、通学路も一緒じゃない、ないない尽くしの中で洗われて、それでも何故か残って繋がる腐れ縁は、案外強くて頼もしいもの。それに気付かされる環境は大学ならではのものと、私自身も生活を通して思います。

自論を貫き駆け抜けるだけではどうしても出来ない無力さ、それでも駆けつけずにはいられない若さ、程よい友情と、居心地の良い日常の中に^{うごめ}蠢く暗くてモヤモヤする事件をちょっと添えて、彼らの大学生活は巡り巡って四季を重ねー。高校生とは一味違った、落ち着いた青さが漂う二十代前半を、あなたも是非先取りしてみてください？

△ ハイパーノック コムドール

(R×Rの如き異国第10代大統領……人びと、人びとも、人びとだめな所……
うごめかす。読者の心)

QND

読者のみなさん
おはようございます
今日は寒いです
おはようございます
おはようございます
おはようございます
おはようございます
おはようございます
おはようございます
おはようございます



しるしうさぎ

お投稿です。

勉強がイヤになっちゃって思ひ込に(笑)
休みの時が分りや話になつてはる
この図書館。前に来たのは一休
ひつたが... 数年ぶりに足を
運んでみました。

紙本や図鑑コーナーでよくに
空も読まな紙に叫見と騒いで
いたあの時と違い、一人で静かに
勉強(?)している... 年とらだ...
現在午後7時。書店の店とくに
家に帰りたいとムを感えている時間。
... 図書館の利用時間もオコサセ、
自分はなとかがあつてしまひましたが、
この場所が昔より変わつてはるくて、
なんたや中へいふた。
この文が載つてはるから、また近いうちに
こへ来ようと思ひます(笑) それでは。

おそ松兄さんお上手ですね!

私は一時期「おそ松くん」にどハマリし
ていました(笑)

時間の流れはとて早いんですね!
勉強頑張。て下さい!



イラストお上手ですね!

うん。ヒントをいたさないで
しりや?

今度にはヒントをがいてのYA!YA!
ペーパお持ちしております。



お返事です。

YA!YA! した... ですがとくに...
命
書く事など...

なつて描きた... と思ひます。

誰かかきやうか?

答は
おれ
おそ松



「方言萌え!?」ヴァーチャル方言を読み解く

田中ゆかり 著 岩波書店

ここ数年、「方言」が脚光を浴びています。

SNS の一種「LINE」では、「方言スタンプ」が大盛況。お笑いグループのU字工事も、「栃木弁キャラ」がすっかり定着していますね。

沖縄のご当地ヒーロー番組『琉神マブヤー』の第1回タイトルは「ウチナグチのマブイストーンがデーじなってる（沖縄方言のマブイストーンが大変なことになっている）」だったそうです。

「かっこいい!」「可愛い!」「おもしろい!」など、最近では昔と比べてプラスのイメージで語られることの多い方言。この本の著者は、方言には「リアル方言」と「ヴァーチャル方言」があるとし、後者に焦点をあてて論じています。そう、関西人でもないのに「なんでやねん」とつつこんだり、土佐人でもないのに「行くぜよ!」と「龍馬語」でスカッと言い切ったりする…アレです。

方言を使う人、使わない人も、日本語表現の面白さに触れることのできる本です。

編集後記

最近 働き始め

本を読む時間が…(泣)
時間が足りないです!!
自分より下の世代の人たちと
ふれあう機会なんかもう
ないので楽しかったです
ありがとうございました。
またこの機会でお会いする
いいなと思います。(^^) *me*

今年が最後となります。3年間お付き合いが
ありがとうございました。毎回 いろんなイタ
達、てくれた方、読んでくれた方、皆さん本当に
うれしかったです。これからも CATCHを
よろしくお願ひします。お元気で!
りいな

時の流れは早いんですよね
もうすぐで、私も受験生です…
今のうちに好きなことをた
くさんしようと思います。
本もたくさん読んでい
ます。ありがとうございます。
す

今回で2年がたちましたね。
いや〜長〜いけど短い2年でした。
最近、後輩中に「いい」と「安定」
という言葉がでてくると
思わず顔を上げてしまいます。
いままでありがとうございました。
秘蔵

今年度も、もう終わってしまっています。
いつの間にか1年が経ってしまい、
自分でも驚いています。
エッセイは変わりますね。私、最近インフルエンザ
になりました。元気の利く夏が、23年ぶり
になり、熱も39.5℃を出ました(笑)みなさん
もかぜには気を付けてくださいわ、